

漢字文献情報処理研究會

Japan Association for East Asian Text Processing

第5回大会・総会

研究発表

花園大学禅デジタルアーカイブ・プロジェクトの構想

師 茂樹 (花園大学専任講師)

統計学的手法を利用した先秦文献の分類に関する研究

— 『論語』 を例にして —

山田 崇仁 (立命館大学講師)

特別セッション：CHISE が開く新しい漢字の世界

CHISE とは何ではないか

師 茂樹 (花園大学専任講師)

XEmacs UTF-2000 の紹介

守岡 知彦 (京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター助手)

漢字字形の自動生成とネットワークフォント

上地 宏一 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程)

漢字のネットワーク

藤原 義久 (ATR 人間情報科学研究所)

漢字構造の可視化 (work in progress)

江渡 浩一郎 (独立行政法人産業技術総合研究所研究員 / メディアアーティスト)

2002年12月7日(土) 13時より

花園大学 無聖館 403 教室 (<http://www.hanazono.ac.jp/>)

※ 大会に引き続き、総会および懇親会 (19時より。会費 ¥6,000、学生 ¥4,000) を開催します。

◆入場無料・要参加申し込み

※非会員の方は、資料代として ¥500 申し受けます。

※参加申し込みと、タイムテーブルなど詳細については、<http://www.jaet.gr.jp/meeting.html> をご参照下さい。